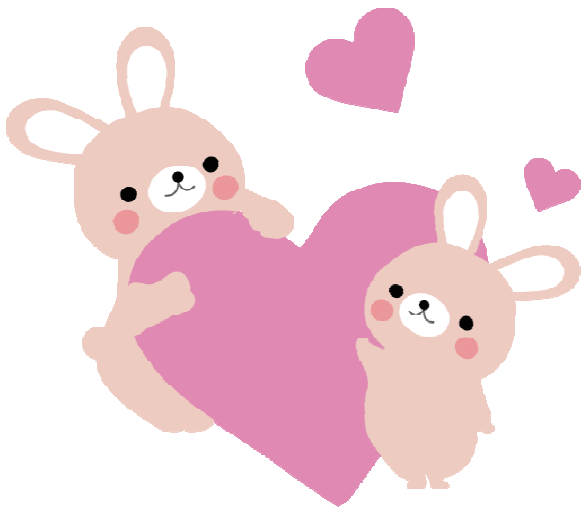


しょうがいのある人・ご家族へのおねがい

ここバリこまきは、しょうがいのある人のことをできるだけ、おおくのひとに知ってもらって、しょうがいのある人へのこころの壁をとりのぞくことをめざして活動しています。



身近にしょうがいのある人がいないひとから、しょうがいのある人やその家族にどう接したらいいかわからない、ということをお聞きします。

じつせい、日ごろからしょうがいのある人とおつきあいが無い人にとっては、知らないことやわからないことがいっぱい、知っていたらそれぐらいのことは手伝いできたのに、とか、知っていたらそんなことはしなかったのに、ということもあると思います。

そこで、ここバリこまきでは、しょうがいのある人やその家族から、**日常生活の中でまわりの人の心づかいでうれしかった経験や逆にづらい思いをした経験を教えていただいて、それを市民のみなさんに伝えたい**と考えました。

ぜひ、しょうがいのある人やご家族のみなさんの経験されたことを教えてください。
たとえば、こんなふうに。

【脳性まひ（知的重度、身体全介助）のこどものお母さんから】

○コンビニの入口などで、自動ドアでない場合、車いすを押しながら扉を開けたり、開けた状態をキープするのが難しいので、店員さんや、前のお客さんが扉を開けてキープしてくださると、とっても助かります。

【自閉症のこどものお母さんから】

○いつしよに出かけるのに待ちきれず息子が一人で出発してしまい、あたりを見回しても姿が見えず、どの方向を探そうかと思っていると、近所の同じ小学校に通っている1年生の子が息子が歩いていくのを見かけていて、あつちにあったよと教えてくれました。その方向を探すと自宅から100メートルぐらいのところを歩いていました。息子のことを知っていてくれて、見守ってくれる地域のひとたちがいてよかったと思いました。

【アスペルガー症候群（軽度知的障害）の青年のお父さんから】

○自分が困った状況に陥った時（例えば、電車のチケットを買う場合に、いくらチケットを買ったらいいのか？など）に、自分から周りの方にSOSを出すことができずに、固まってしまうこともあります。周りの皆さんから一言「どうしたの？」と、声をかけて頂けると助かります。

ここバリこまき 連絡先 mail@kokobari-komaki.net
ホームページ <http://kokobari-komaki.net>

うら面を見てください

やさしいまちをつくるための、エピソードを集めています。

身近にしょうがいのある人がいない人には、気づかないことがいっぱいあります。

みなさんの経験のなかから、まわりの人の心づかいがうれしかった、こんなつらい思いをした、ということをお寄せください。これまでお寄せいただいた経験談をつぎのブログに掲載していますので、参考にしてください。[ここばかりこまきのやさしいまち](http://blog2.kokobari-komaki.net/) <http://blog2.kokobari-komaki.net/>
ここばかりこまきのスタッフに手渡しするか、ファックスをしてください。

FAX 番号 052-308-3834 当面の締め切り 2011年5月31日

また、<http://kokobari-komaki.net/yasashiimachi/yasashiimachi.html> から投稿できます。

うれしかったこと、つらかったことなど

しょうがいのある人本人のしょうがい特性について

お寄せいただいた経験談は、多くの市民のみなさんに知っていただくために、寸劇にしたり、ビデオにしたりして、活かしていきたいと考えています。

さしあたり、次のブログに掲載していきますので、ぜひ、ご覧ください。

<http://blog2.kokobari-komaki.net/>